

女性経営者の草分けとして――

創業45周年

桜ゴルフ社長 佐川八重子の

「しなやかに戦い続ける」経営

【第3回】

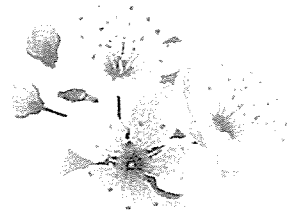


「興銀元頭取・正宗さんの
『いつまでも肩肘張らず、
鎧を外したらどうか』
という言葉が今でも心に残っています」

日本ニュービジネス協議会の発足メンバーとなって、産業界の発展のためにも尽力してきた佐川氏。「やってやれないことはない」と有言実行で英元首相サッチャー氏を講師として招聘することにも成功。各界リーダーとの交流の中で、心に残る言葉とは――。

さがわ・やえこ

1944年千葉県生まれ。63年文化服装学院本科修了、ゴルフ会員権販売会社2社を経て、70年桜ゴルフ創業。東京ニュービジネス協議会創立メンバー、東京産業人クラブ常任理事。



パーティの後流れた涙

―― 佐川さんは、日本興業銀行（現・みずほフィナンシャルグループ）の元頭取・正宗猪早夫さんとも親しくされていましたね。正宗さんとは、どこでお知り合いに？

佐川 正宗さんとの出会いは、日本商工倶楽部という元日本興業銀行の取引先の親睦クラ

ブです。正宗さんはその顧問でもありましたので、お話をさせて頂く機会に恵まれました。

それは昭和47年（1972年）の賀詞交換会でした。正宗さんはたくさんの会員やゲストに囲まれていたのですが、合間を縫ってそばに来てくださり、「若い人の着物はいいですね」と話しかけてくださったのです。初の女性会員ということ

で、さつたのだと思いましたが、私にとつては天にも昇る思いでした。雲上人に声をかけられたのですから――。

その後、正宗さんが「子供に会員権を買いたいので、会社に来てほしい」とお呼びがかり、それ以来、商工倶楽部

はもちろん、他の会合でお会いしても私を見つけては「仕事の方は大丈夫だね」と励ましの言葉をかけてくださった。二度にわたるオイルショックで売り上げが半分以下になる中、どれほど心強かったことか……。

―― 興銀の実力者である正宗さんとの付き合い合いか、興銀との取引もあったのですか？

佐川 会員権の取引は個人も法人もありましたが、融資先という形でのお付き合いはできておりませんでした。

―― 融資を依頼しなかったのは、なぜですか？

佐川 まだ興銀の取引先の規模ではなかったことと、あまりお願いをするとは避けられてしまうのではと。嫌われたくなかったのです。本当は喉から手が出るほど頼みたかった。やせ我慢をしていたのです。

そういうこともあって、私は「頼みごとをしない珍しい女性経営者」とレッテルを貼られていました。しかし「いつまでも肩肘張っていないで、そろそろ

鎧を外したらどうか」と言ってくれたこともありました。

その頃になると正宗さんは銀行の会長としてではなく、父にも似た存在で、背伸びをした私の話を「ほう、ほう」と楽しそうに聞いてくれました。

相場が乱高下するゴルフ会員権市場、景気に左右されないビジネスにしなければ――。

マーケットの正常化や株主化についても、議論のお相手となつて私の考えを膨らませてくれました。

―― 若い頃から、財界の重鎮との付き合いを通じて、貴重な経験をしてこられたと。

佐川 その頃の日本商工倶楽部は、有力な企業が500社も参加しており、いわば倶楽部全盛のときでしたので、私の商売にも大変プラスになりました。

会員は興銀の取引先ですから、メーカーの方が多く、どちらかというと地味で、重厚な、いぶし銀のような威厳のある方が多かったと思います。ですから、パーティの後、一人になると



最も尊敬していた元日本興業銀行頭取の正宗猪早夫さん（写真右）と元商工倶楽部理事長の藤沢徳三さん（写真左）

感極まって、その反動からとめどなく涙が溢れてくるのです。

——それはどんな思いの涙でしたか？

佐川 ゴルフ会員権という新しい分野のわずかな成功で、マスコミなどにもはやされてる自分がいる一方、「私は何も作っていない、虚業ではないか」と、やりきれないむなしさに襲われるのでした。

NBCで時の人 サッチャー氏を招聘

——佐川さんは、ニュービジネス協議会（NBC）でも活躍されましたね。

佐川 NBCは、経営学を側面から学ぶ最良の研修の場所でした。

NBCは昭和60年（1985年）に多摩大学学長をしていらした野田一夫先生が、当時の通産省（経済産業省）の肝煎りによって創設された経済団体です。しかし、事情があつて、野田先生が1半年で退任されたため、代わって日本電気社長（当

時）の関本忠弘さんがNBCの会長に就任されました。

関本体制になると、それまでの若いベンチャーが中心のNBCから、中堅や大手にまで会員が拡大され、立派な組織となりました。

会長には関本さん、副会長には土井定包さん（大和証券元社長）小林陽太郎さん（富士ゼロックス元社長）、大川功さん（CSK創業者）、高原慶一朗さん（ユニ・チャーム取締役ファウンダー）など、すべてを思い出せませんが、話題の方が名を連ねていました。

そこに志太勤さん（シダックス創業者）、女性では今野由梨さん（ダイヤル・サービス社長）、それに私も末席に加えていただきました。理事の半数は中小企業の方々ですので、それを関本さんがどのように運営されるか楽しみでした。

関本さんの運営は、人の意見をよく聞き、積極的に議論もし、そこで答えを出していくという大変公平で納得のいくもの

無理だ「できるはずがない」と皆から大反対されました。

その中でも「いや、絶対にやってみせる」と関本さんにも相談し、サッチャーさんに手紙を出していただきました。もちろん私も「新しい道を切り拓く女性経営者のために来目してほしい」と手紙を書きました。

結果として、作家のジェフリー・アーチャーさんのお力添えもあり、実現したのですが、行動する者には道が

開かれる訳で、幸い、桜ゴルフの主要取引先であったNTT（日本電信電話）さんから有力な情報が入り、担当の方が「今のサッチャーさんを単独でお呼びしたら大変なお金がかかる。NTTが招聘するので、その合間を活用してはどうか」と声をかけて下さいました。

色々な方のお力添

でした。

私たち中小企業の独断専行型のリーダーとはちよつと違っていましたね。人を尊重しながら組織を運営する。親方の胸を借りる。と言つたらいいでしょう。か。大変学びの多い時間でした。

関本さんは約9年間一度も理事会を欠席されたことはありませんでした。

また、私は高原副会長率いる経営強化委員会のメンバーで、その中から女性経営者委員会が誕生しました。

——関本さんから言われた言葉で、印象的なことは？

佐川 「君はアイディアもあるし、言うことは全部やるね」

えがあつて、女性経営者セミナー『新しい道は開かれる』が実現したのです。帝国ホテルでのセミナーは、櫻井よしこさんの進行のもと、1000人の女性経営者に参加いただき、大成功を収めました。いま考えても、夢のようでございます。

——サッチャーさんの言葉で印象深かったことは？

佐川 「女性は家事を通じ、やりくりを身に付けている。場を与えられれば、必ず人は育ち、大きく成長する。Yes We Can」と言つて、女性たちを讃えました。

また、会場から日頃の心得についての質問に一言、「アンビシャス、大志を抱け」とお応えになりました。

——時の人であるサッチャーさんをよく呼べましたね。

佐川 それは皆様のご協力あつてのことですが、「サッチャーさんを必ず呼ぶ」という信念です。そのためには資金集めに奔走しました。私一人で2000万円以上集めましたよ。



商工倶楽部でのパーティ。右から3人目は、元山一證券社長の日高輝さん

と言つて、応援して下さいました。女性経営者委員会が活発でしたので報告が多く、評価して頂いたのでしょうか。

——そこで英国首相のマーガレット・サッチャーさんの講演を企画したのですか？

佐川 そうです。最初NBCには女性会員が10人くらいしかおりませんでしたが、世の中は

事業が成長するまでは 表に出ない

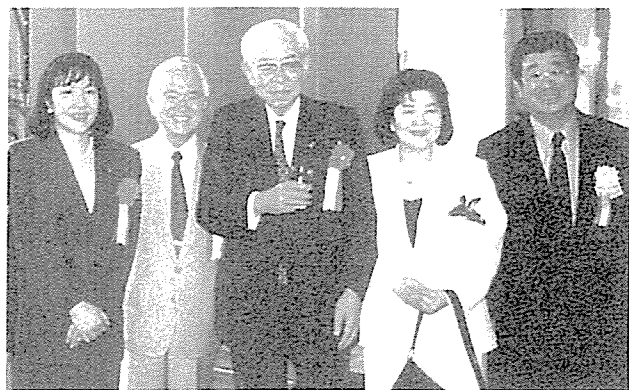
——若い頃から経済団体に入り、多くの人に会つて勉強すると同時に、いろいろな人間関係にも揉まれてきたのですね。

佐川 業界内にいると井の中の蛙になつてしまいますし、少しパブリックなところで活動したいと思い、最初は商工会議所の女性会を覗いたのですが、幸い野田先生からお話を頂き、NBCの発足メンバーに加わりました。

ただ、公の場所に出るには一つの覚悟がありました。100億円の売上を達成するまでは絶対表に出ないと決めておりました。

——そう決めた理由は？

佐川 若い頃から新聞や雑誌にも取り上げられ、「テレビにも出ないか」と誘われたりしておりましたが、これ以上甘やかされたら、私はとてもない鼻持ちならない人間になつてしまふ。社業が守れないと思つたのです。（以下、次号につづく）



楽しかったNBC。現総務大臣の高市早苗さん（左端）、ユニ・チャーム取締役ファウンダーの高原 慶一朗さん（左から2人目）、元日本電気社長の関本忠弘さん（左から3人目）、シダックス創業者の志太勤さん（右端）と